

## 地域連携推進会議議事録

報告日 令和8年 2月 26日

NO.1

開催日時	令和 8 年 2 月 8 日 (日) 10:00～12:00	開催場所	星の会 2階 多目的室
進 行	職員①	書 記	職員②
出席者	(保護者代表) : 1名・(地域関係者①) : 1名・(利用者代表) : 1名 (職員) : 5名		
欠席者	(地域関係者②) : 1名※民生委員・(理事長) : 1名		
議 題	1.地域連携推進会議の趣旨 2.施設やサービスの透明性・質の確保 3.施設等と地域の連携 4.利用者の権利擁護 5.施設訪問		
<議事・内容> 【凡例】 保：保護者代表、地①：地域関係者①、利：利用者代表、職：職員			
1.地域連携推進会議の趣旨			
(職) 昨今のグループホームの運営の中で、水増し請求や虐待などが発生している現状があり、グループホームの法改正により、地域連携推進会議を設立し、外部の方から意見を頂戴する場を設け、会議の際に施設を見ていただいたり、意見を頂戴したり、開かれた施設にするよう指示がありました。私どももグループホームを運営しているため、今回地域連携推進会議を開催し、お集まりいただいた次第となります。			
詳細につきましては、資料の1ページ目をご確認いただければと存じます。			
(資料内容についてご説明する)			
2.施設やサービスの透明性・質の確保			
(職) グループホームの運営について、昨年4月から12月までどのような活動をしてきたかご説明したいと思います。また、経営状況、BCPの策定状況についても、併せて、資料に沿ってご説明させていただきます。			
(資料内容についてご説明する)			

3.施設等と地域の連携
(職) 近隣の方から苦情が発生した場合の対応について、また、地域との連携として様々なイベントに参加した内容について、資料の内容に沿ってご説明させていただきます。
(資料内容について説明する)
4.利用者の権利擁護
(職) 利用者の意思決定支援の推進については、国が定める運営規程に掲載されており、一番重きをおくものとされています。サービス管理責任者による面談状況のご説明、また、虐待や事故・ヒヤリハットについては、委員会の開催状況は、事故・ヒヤリハットの発生状況について、資料に沿ってご説明させていただきます。
(資料内容について説明する)
昨年12月までとはなりますが、私共のグループホームにおいては、このような活動を行ってまいりました。つきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、頂戴できればと存じます。
(保) 職員の方々については、利用者に対してよくやっているといます。
心配なのが、職員の方々のメンタルなどは大丈夫かなと思います。支援と介護ということで、実際問題対応も違うだろうし、高齢化となれば命を預かるという認識がより一層あると思うので、肉体的以外にも精神的な負担が心配です。
(職) 確かに職員の負担が大きくなってきていると感じます。利用者さんが若い方、高齢の方が一緒だと、個々の対応を分けるわけにもいかず、どうしても負担が重い方に合わせた支援となってしまうので。その部分で分けていくことも検討していかなくてはならないと考えています。
(保) 利用者さんも職員さんも高齢化してくると思いますが、頑張ってもらいたいと思います。
(職) 今年は障害者区分の判定が行われた利用者さんのほとんどの方の区分が上がっております。高齢化に伴うものだと思います。高齢化していくと高齢者施設に移行するように行政より促されますが、実際は難しい状況です。
(保) その場合はどうなるのでしょうか。ここにいるしかないのでしょうか。
(職) 実際ご家族にお願いをしても現状難しい状況ですし、ご本人がご要望している限りは、無理には出せず、医療行為が発生してしまうようであれば、病院に移行していただくことは

